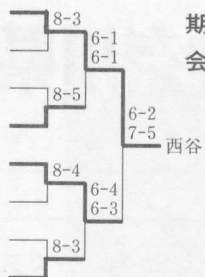


第13回 ブロック別シングルストーナメント

Aブロック

- 西谷(サントリーT.G)
- 渡辺(中央林間)
- 渡辺(スポーツ109)
- 大場(YITC)
- 只隈(相模原グリーン)
- 野田(YSC)
- ハンフリーズ・K(YITC)
- 永島(サントリーT.G)



参加数：128名

期日：9月30日～10月4日

会場：等々力コート、横浜ガーデン



大場・只隈・西谷・永島

○卒業して一言

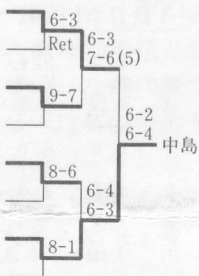
西谷さん：無欲で優勝できて嬉しいッ！

只隈さん：卒業した一いと思った時はできなかつたのに……。

Bブロック

参加数：137名 期日：10月7日～11日 会場：本郷台テニス、スピックスインドア

- 土屋(SCエスタ)
- 鳥居(ガイヤランド)
- 水越(SCエスタ)
- 井上(サンブリッジ)
- 小山(本郷台)
- 山本(本郷台)
- 中島(鎌倉カントリー)
- 長谷川(サンブリッジ)



中島



土屋

○卒業して一言

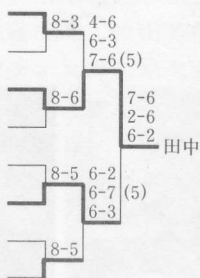
中島さん：流麗なテニスで観客をうならせたが、物静かに一言“ホッとした”

土屋さん：悲願達成！拾った捨て猫が勝利のまねき猫だったワ。

Cブロック

参加数：128名 期日：10月1日～3日 会場：桃浜コート、湘南ローン

- 松尾(コマ山)
- 渋谷(湘南インドア)
- 田中(厚木国際)
- 曾我部(鶴沼グリーン)
- 松尾(寒川ローン)
- 星野(湘南ハンドレッド)
- 井上(厚木国際)
- 森本(湘南ローン)



田中



星野

○卒業して一言

田中さん：うれしいばかりの30代ミセスボレー、スマッシュでポイント稼ぎ！

星野さん：今まで何人送りだしたやら。苦節、風雪10年、やっと自分の番でした。

第9回 武石杯

(3)

とき 10月29日～31日 ところ 荇原湘南スポーツセンター

60才以上 参加数 6組

武石・大塚(鎌倉ローン・鎌カ) ———— 6-3 優勝
 原口・三輪(湘南インドア・太平台) ———— 6-1 草生・藤井
 天野・白石(個人・青葉台) ———— 6-2
 草生・藤井(夢見ヶ崎・横浜ローン) ———— 6-2

草生・藤井組より優勝の一言!!

草生・藤井…はじめてのペアですが大変楽しかったです。(一日三試合は無理の声も有)



60才 左より
大塚・武石・
草生・藤井
(武石さんは
87才です)

55才以上 参加数 26組

岩本・斉藤(鎌倉宮カントリー) ———— 小野3連勝!!
 越川・鈴木(寒川ローン・湘南ローン) ———— 8-3 優勝
 伊藤・寺井(鎌倉いずみ) ———— 8-4 布川・小野
 布川・小野(鎌倉宮カ・湘南ローンT) ———— 8-1

布川・小野組より優勝の一言!!

布川…小野さんにおんぶしていただいた。
 小野…いいパートナーにめぐまれました。



55才 左より
斉藤・岩本・
小野・布川

50才以上 参加数 26組

荻島・田淵(夢見ヶ崎・タチバナ) ———— 田淵2連勝!!
 中野・柳田(寒川ローン・太平台) ———— 6-1 優勝
 西牧・箕浦(サンブリッジ) ———— 6-3 荻島・田淵
 矢込・伊豆(レニックス) ———— 2-6 6-1
 ———— 6-2 6-2

田淵・荻島組より優勝の一言!!

田淵…本当にうれしいです。 三位 矢込・伊豆
 荻島…田淵さんのお陰です。



50才 喜びの
左より
田淵・荻島・
箕浦・西牧

第24回 県支部シングルストーナメント

とき 10月29日～31日
 ところ 荇原湘南スポーツセンター
 参加数 24名

只限悦子 (相模原グ) ————
 関場和子 (上郷グリーン) ———— 6-2 優勝
 西谷真理子(サントリー) ———— 6-4 関場
 古川本子 (夢見ヶ崎) ———— 6-2 6-6 三位 古川
 ———— 6-3 6-3

長時間戦い優勝された関場さんより!!

ファイナルになった時若い人に敗れるかなあと
 思った。

入賞者の皆様方



西谷・関場・古川・只限

第2回 ブロック対抗戦

Aブロック2連勝

とき 11月29日 ところ 泉中央テニスガーデン

	Aブロック	Bブロック	Cブロック
桑名杯 No.1	赤崎・蓬菜組	鈴木・桜井組	高橋・青木組
桑名杯 No.2	竹下・一志組	永峯・木村組	大塚・片岡組
一般 No.1	宮本・関川組	堀池・東樹組	谷口・松丸組
No.2	大谷・国保組	川角・兵藤組	有馬・松尾組
No.3	渡辺・村岡組	小山・平田組	根本・森本組
No.4	古川・本田組	井上・神野組	神野・星野組
No.5	斉藤・鈴木組	加藤・土屋組	中尾・鈴木組
50才以上	二之宮・国広組	西牧・箕浦組	金剛寺・落合組
55才以上	高橋・紺谷組	斉藤・布川組	桑原・越川組
監督	小川	柴崎	中尾

試合結果

	Aブロック	Bブロック	Cブロック	計	順位
Aブロック		8-1	5-4	2勝	1
Bブロック	1-8		5-4	1勝1敗	2
Cブロック	4-5	4-5		2敗	3

試合前の予想

Aブロックの小川監督…V2をねらいたいが、皆様強いので最後に逃げ切りたい。

Bブロックの柴崎監督…厳しい。Aが強くて、人数が多い。

Cブロックの中尾監督…Aは層が厚く、人材が多い。



2連覇のAブロック選手団

Aブロックはセーターをワイン色に、Cブロックは帽子を白に揃えて、それぞれ工夫がされていました。おでんを作っていたブロックもありました。応援が少なかった様に思いました。今年は各ブロックの皆様方の応援をお願いします。

試合後の各ブロックの監督の言葉

小川…予想通りでした。

柴崎…接戦をしていたので、来年は頑張りたい。

中尾…後援会を作りました。

Aは、桑名杯と50才、55才以上で差をつけた様子でした。

第2回 レディーステニス

第2回の朝日レディースの東急レディースは、西関東地区大会の応募数362組、(去年は283組)その中から抽選で64組選ばれ、11月5・6日根岸テニ場で米山・(サン)が優勝。全国大会は11月26日、多摩川園ラケットクラブにおいて開催され、神奈川県のみ山・原田組は、3位に入賞されました。



と き 8月28日
 ところ 横山公園コート
 参加数 小学生の部 26組
 中学生の部 20組

ほほえましい大会ですよ。

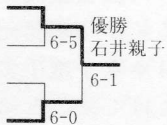
小学生の部

早坂寿枝・恵(相模原T.C.)
 間宮茂子・隆一(湘南ローンT.C.)
 栗原由美子・俊介(荏原SSC)
 石崎伸子・勇太(荏原SSC)



中学生の部

石井篤子・卓也(相模原GTC・荏原SSC)
 多田鈴子・哲平(城郷T.C.)
 塚本かず子・幸司(塚本プロテニスカレッジ)
 野口まり子・功(上郷グリーン)



優勝して!!

間宮親子：小学校最後の年なので頑張りました。
 (母)
 小学校最後の大会で優勝できとても
 うれしい(息子)
 石井親子：いい夏休みでした。息子が頼もしく
 思えました。(母)
 準決勝がきつかった。(息子)

1991年 BUENO CUP 参加しました

田 淵 昭 子

日本テニス協会ベテラン委員会の推薦をうけて
 全国から4名の選手(田淵・吉田・田村・豊
 島)が、四月にオーストラリアのパスで開催
 された世界選手権に派遣されました。この“BU
 ENO CUP”は、50才以上の女子による国別団
 体戦で、日本は今年3回目の参加でした。(第
 1回は宮城静代さん、第2回は高橋美恵子さん
 が出場)ローンコートという日頃なじみのない
 サーフェスに苦しみつつ精一杯、頑張ってきました。
 しかし、さすがに往年の世界名プレイヤー
 達との実力の差は如何ともしがたく、正確でパ
 ワー溢れる彼女たちの強さにただ感服しました。

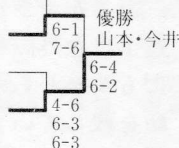
又、主催国オーストラリアからは日本チーム
 はとても友好的に取りはらっていただき、パー
 ティーの席上でも全員がつかない英語で各国と
 の親善を深めてまいりました。

全日本ベテラン大会より
(10月)

50才・55才以上女子ダブルス、45才以上シン
 グルスで神奈川勢大活躍。

50才以上ダブルス

青柳・西田(芦屋国際・三井ガーデン)
 高木・嶺尾(モリタテニス・明石L.T.C.)
 沼・遠藤(成城GP)
 山本・今井(鎌倉カントリー・関町)



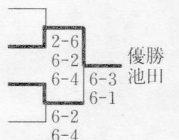
55才以上ダブルス

柴山・長島(笠松G.T・名古屋L.T.C.)
 水野・土屋(桜台T.C・富士見台T.C.)
 坂本・飯沼(宮崎台T.C・サントリー)
 辰巳・笹田(宇治L.T・鳥取T.C.)



45才以上シングルス

三宅 (SEIKO)
 池田 (夢見ヶ崎L.T.)
 藤城 (皇山T.C.)
 渡辺 (芦屋国際)
 人生、華やかなりしは50代から。



左端 田淵さん



私とテニス人生 ——その75年のかかわり——

県テニス協会会長 福井 勇

前号では、私の若かりし頃のテニス周辺を述べてみましたが、今回は日本と世界のテニス界、昨今の回想です。私は米寿をすぎ89才になりましたが、テニスとのかかわりも四分の三世紀に至ります。75年も前の日本のテニスは勿論、軟式テニスでした。



私の生まれ故郷愛知県は、非常にテニスが盛んで、小学校・中学校の運動場の片すみには簡単なポストを立てネットを張ったコートがどこにもみられたものです。明治から大正の頃でしょうか。この頃の世界のテニスは、といえますと米国・濠洲に次いで英・仏・独・伊が次第に頭角を現わし、近代テニス飛躍の端緒となって世界中にテニスが浸透していった時代です。野球がアメリカ中心、ホッケーは英国中心といった地域的に限られた出発のスポーツと違ってテニスは地球全体の文明国には、ほとんど行きわたる種目になったといっただけでしょう。

1928年のアントワープオリンピックでは、熊谷一弥選手が南アのレーモンドと決勝を戦い、銀メダルを獲得したことは有名で、この大会には熊谷はじめ柏尾・本多・岡本etc何人もの日本選手が出場したものです。陸上選手では金栗四三選手がマラソンで期待されていたが、テニス選手は在外商社勤務のサラリーマン達であったにもかかわらず、陸上選手よりはるかに良い成績を残しています。熊谷・清水善造の世界的選手に次いで原田武一、佐藤次郎、太田芳郎、山岸次郎など、当時世界のテニス界に勇名をとどろかせたわけで、日本のテニス界もその頃までが輝やかな時代で、以後プロ、アマチュアが云々されるようになり、一方日本のテニス人口は増加の一途だが、悲しい哉、国別ランクをつけるとすれば、下位に甘んじて全く残念至極

です。ここ20年位までは東洋では、一応日本がリーダーシップをとっていたが、インドにはどうも歯がたたない上、昨今はアジア各国でも対々か、あるいは下のランクかと思われることもしばしばで、日本のテニスの行きつく先は？ 一体どうなっていくのやら私の筆勢はにぶるばかりですよ。ことに最近のテ杯戦に至っては、過去半世紀を振り返っても最低の成績ではなかろうか。日本テニス協会顧問の私としましても協会の責任は重く、かつ暗雲たれこめている現状です。ただ、日本女子選手に限ると、ここ最近非常に飛躍をとげてまことに慶賀の至りですね。思いおこせば、沢松和子さんが、ウィンブルドンでダブルス優勝の頃から(昭和50年)、日本の女子テニス人口は、何千倍にも増加し、それにつれて立派な記録、実績が新聞にも掲載され、祝福ものです。日本のスポーツ界は、いまや女子抜きでは語れません、当然ながら。今回開催されるアルペールビル冬季五輪にしても、メダルの期待がかかっているのは女子選手ですよ。

私がペンを走らせるように簡単にいかない事は百も承知で書きたい事は、不安定な政局に乱用している何十億、何百億の金のうち、ほんの少々をスポーツ界、テニス界に振りわけていただければ、驚異的飛躍が望めるといっても過言ではありません。夢よもう一度、熊谷、清水の黄金時代の再来を願ってやみません。第二の沢松和子さん、出現されたし。幸い、女子選手の中に、伊達公子さん、沢松奈生子さんの如く、世界ランキングに届こうとする素晴らしい選手が育っていることに希望をもって、ひいては裾野を広げ、レベルアップに尽力している日本女子テニス連盟の皆様にも心から感謝する次第です。

編集後記

広報部担当「葉山」も二年間のお務めを無事はたしました。わずか年に三度の発行ですのに難行苦行の二年間でもありましたが、それとても心から楽しんだ形跡なきにしもあらずです。皆様、どうもありがとうございました。次号からは、Aブロックの松浦福子さんの担当です。奥ゆかしく親しみ深い方です。ますますの発展を祈ります。

(葉山 美知子)